

<p><b>スクール・ミッション</b> (本校の存在意義や社会的役割を目指す学校像)</p>	<p>より良い未来を創るため、生涯学び続け、社会に貢献し、広く活躍する人材を育成する学校 学校内外での主体的な学びの中で飽えず自分の道を模索し、進化するように努め、将来を切り拓く気概と思いやりの心を持って、他者と協働しながら困難な課題を解決できる人材を育成します。</p>	
<p><b>スクール・ポリシー</b> (三つの方針)</p>	<p>グラデュエーション・ポリシー (育成を目指す資質・能力に関する方針)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○幅広い知識と教養、高い学力を持つ生徒の育成</li> <li>○社会の課題について当事者意識を持ち、他者と協働して課題解決に取り組む生徒の育成</li> <li>○良きリーダー、良きフォロワーとして失敗を恐れず挑戦する生徒の育成</li> </ul>
	<p>カリキュラム・ポリシー (教育課程の編成及び実施に関する方針)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生徒の「高い志」の進路実現を支援する質の高い授業</li> <li>○他者と協働して事に当たる力を身に付け、深く考える力を伸ばす総合的な探究の時間</li> <li>○自尊感情を高め、他者との協働を軸に、実践的な生きる力を養う学校行事や部活動</li> </ul>
	<p>アドミッション・ポリシー (入学者の受け入れに関する方針)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○基本的な生活習慣と学習習慣を身に付け、十分な学力を持った人</li> <li>○目標に対し、周囲の人と協力して最後までやり通そうとする意欲がある人</li> <li>○知的好奇心が高く、様々なことに挑戦しようとする人</li> </ul>

学校運営計画(4月)				
学校運営方針	<p>全ての教育活動を通して「自分がやりたいことを自分で見つけ、やるべき事を考え、実際に行動する力」と「自ら考え、主体的に行動して、責任を持って未来を創造していく」という力を身に付けた生徒が育つ環境づくりを推進する。日々の授業、学校行事、部活動などすべての教育活動において「主体性」「行動力」そして「思いやり」を身に付けた生徒が育つ環境であるかを考え、変化することを恐れず果敢に挑戦し続ける学校経営を行う。</p>			評価(総合)
昨年度の成果と課題	年度重点目標	具体的目標		
<p>昨年度は「自己実現から未来の創造者へ」のスローガンの下、生徒が自分でやりたいことを自分で見つけ、やるべき事を考え、実際に行動する力や、自ら考え行動して、責任を持って未来を創造していくとする力を育むため、生徒の「伴走者」としての支援を充実させるとともに、失敗を恐れず積極果敢に挑戦する生徒の育成に努めた。 今年度は、スクールミッション、学校運営方針の下、「倉高ONLY ONE 計画」(「飽えず自分の道を模索し、自己実現に努め、将来を切り拓く気概と他者への思いやりの心を持つ生徒」を育てるための教育活動)の確実な遂行によって、「主体性」「行動力」「思いやり」を育てる教育活動を推進する。</p>	<p>不断の授業改善と1人1台タブレット端末を有効活用による高い学力と幅広い知識・教養の涵養</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生徒が主体的に学びに向かう質の高い授業の実践</li> <li>○観点別学習状況の評価の確実な実践と指導と評価の一体化</li> <li>○一斉課題の在り方の検証・改善を通じた個別最適な学びの推進</li> </ul>		
	<p>「社会に開かれた教育課程」の実現と探究活動の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○総合的な探究の時間の充実と取組の継続</li> <li>○教科の授業における探究活動の充実</li> </ul>		
	<p>心の教育の推進による自尊感情、自己肯定感、失敗を恐れない態度、粘り強さ、たくましさの育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○主体的に判断し、行動できる生徒の育成</li> <li>○自信と誇りをもち充足感のある学校生活を送る生徒の育成</li> </ul>		
	<p>学びあひ支えあふ教員集団づくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○常に学び、学びあふ教員集団を目指す</li> <li>○情熱に溢れるあたたかい教員集団を目指す</li> </ul>		
	<p>世界に通用するグローバル人材の育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○言語や文化、価値観の違いを越えて多様性を認める態度の育成</li> <li>○高いコミュニケーション能力の育成</li> </ul>		
評価項目	具体的目標	具体的方策	生徒、保護者対象のアンケート(外部アンケート等)の項目等	生徒、保護者対象のアンケート(外部アンケート等)の結果等
<p>学習指導(勉学)</p>	<p>授業改善の推進と教科指導力の向上</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員相互の授業参観や研究授業、学習評価を通して自らの授業を振り返り、教科指導の改善を図る。</li> <li>・1人1台端末の活用方法を共有し、ICTの活用を推進する。アプリケーションの導入も検討する。</li> <li>・個別最適な学びを推進するため、個々の生徒の学習状況に応じた課題の在り方を検討する。</li> </ul>	<p>授業アンケート</p>	
	<p>主体的・対話的で深い学びの実現</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒自身が学びを振り返り、課題発見や学習改善、発展的内容へと向かう一連のPDCAサイクルを確立させる。</li> <li>・各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を働かせることができる生徒の育成を目指す。</li> <li>・生徒が見通しを持って学習できるよう、一人一人に対するきめ細やかな指導を行う。</li> </ul>	<p>授業アンケート</p>	
<p>進路指導(創造)</p>	<p>探究活動を活用した進路学習の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・探究活動を通して生徒の進路に関する知識と進路実現への意欲を高め、キャリア教育の充実を図る。</li> <li>・進路講演会、校外研修などへの参加を奨励し、生徒が刺激を受け高い志を抱くようにする。</li> <li>・大学や地域、他校と連携した取組をさらに推進し、指導方法や評価方法について研究を進める。</li> </ul>	<p>探究活動に係る振り返り参加生徒アンケート</p>	
	<p>希望進路の実現</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人面談や明瞭講習、志望校および学力レベルに応じた個別指導を充実させることで、生徒一人一人の自主的な学習を促す。</li> <li>・各期で東大5名、京大7名、九大60名、医学部医学科20名合格という目標の達成に向け、3年間を見通して支援する。</li> <li>・進学テストの作問やICT教材の活用を通して、教科内で難関大学・学部の入試問題研究を行うとともに教科指導力の向上を図る。</li> </ul>	<p>学習実態調査</p>	
<p>生徒指導(規律・勤労・敬愛)</p>	<p>規範意識の向上</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な生活習慣を確立させ、出席率99%以上、出席皆勤者50%以上を目指す。</li> <li>・校内外におけるマナーの向上を授業、HR、講演会等で指導し、社会生活における規範意識向上の重要性を理解させる。</li> <li>・自他ともに価値ある存在として尊重し、人を思いやる心豊かな生徒を育成する。</li> </ul>	<p>いじめアンケート 学校生活アンケート 家庭用チェックリスト</p>	
	<p>部活動・生徒会活動の活性化</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・勉学と部活動、生徒会活動との両立を目指し、家庭学習時間を確保するために19時30分完全下校を堅持する。</li> <li>・部活動の一層の活性化に努め、文化部・体育部合わせて九州大会8部、全国大会5部の出場を目標とする。</li> <li>・部活動・生徒会活動等を通して、主体的に考え、組織的に取り組む態度を養い、リーダーシップ、フォロワーシップを育成する。</li> </ul>	<p>部活動等におけるミーティング 学校行事に関するアンケート</p>	
	<p>生徒の状況に即した指導の充実</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の状況を的確に把握し、必要に応じて迅速に家庭や関係機関と連携して支援や指導を組織的に行う。</li> <li>・学校いじめ防止基本方針に基づき5項目の取組を実施し、いじめ防止対策委員会等で評価及び今後の課題の検討をする。</li> <li>・人権教育と道徳教育の一層の充実を図り、生徒の人間力の向上を目指す。</li> </ul>	<p>いじめアンケート 学校生活アンケート 家庭用チェックリスト</p>	
<p>組織体制</p>	<p>学びあひ支えあふ、向上心を持った教員集団の創造</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育活動全般で教員間の協働を推進することで、「チーム小倉」として組織力の向上を図る。</li> <li>・会議や研修会を通して生徒情報を共有することで、個々の生徒に応じた適切な指導を組織的に行う。</li> <li>・業務の見直しやICTの活用により働き方改革を推進し、生徒の指導に全力で取り組める職場環境づくりに努める。</li> </ul>	<p>本校の教育活動に関するアンケート</p>	